



働き方改革について

11月に入り、各学校では運動会や合唱コンクール等の学校行事の実施、校内研究の取組等、子ども達にとっても、先生方にとっても充実した時間を過ごされていることと思う。そんな中、今回は働き方改革について少しだけ考えてみたい。

「働き方改革」と言われて久しいが、貴校の取組状況はどうだろうか。働き方改革は本来なら特色ある学校づくりであり、会議の精選やICT等を駆使することなどの取組により、時間が創出され、その時間の使い方を工夫することで、先生方は成長し、子ども達は笑顔になるのだと考えている。経験上、働き方改革は、単なる残業時間の削減だけではないというのが私の考えである。校長時代、先生方に対し45時間以上の超過勤務の実態をグラフ化し、提示した。先生方からは、「早く帰りたいけど帰れない」「一生懸命に仕事をしていることを評価してほしい」との声が上がった。これらの実態から「早く帰りましょう」の声かけだけでは、結局、働き方改革は進まなかった。そこで、働き方改革の視点を、「残業削減の視点」や「時間の創出の視点」から、先生方の「心の安定」に重きを置いて取り組む事にした。教育の質を上げるには、先生方の「心の安定」は、必要不可欠で、最優先事項であり、「時間の創出＝働き方改革」だけではなく、多角的な取組が必要と考えたからである。

では、教育の質を上げるためには何が必要だろうか。「子どもに向き合う時間の確保」とよく言われるが、これはざっくりして核心が見えにくい。学校の時程表では、朝、8時15分登校、午後3時50分頃が下校時刻であろう。子どもの在校時間は約7時間である。部活動がある中学校ではもっと増えることになる。在校時間が7時間以上の現実の中、更に「子どもと向き合う時間」を確保しないといけないのか。授業を含む教育活動の中で、先生方は子どもと向き合っていると思う。変えるべきは、子どもに向き合う時間を増やすことではなく、先生方が必要だと考えている事に時間をかけられるようにすることではないか。それが教育の質を上げる要因の一つであろう。先生方(学校)が必要を感じることに時間を使えば良いし、単にいろいろ精選し時間を創出したとしても、生み出された時間が、先生方の納得が充分得られていない事に使われるのであれば、教育の質の向上には繋がらないどころか、精神的負担となりかねない。そこで前述の通り、「時間の創出」よりも「心の安定」に繋がる取組として、ノー残業デーを自己申告制とした。先生方に自己決定を促した方が、ストレスの度合いも低いであろうと考えたからである。週に1回以上は、リフレッシュできる日を各々で作ってほしい。月曜日の出勤時に、ホワイトボードの曜日の枠に、名前プレートを貼る。例えば、金曜日に名前を貼ったなら、今週は、金曜日私のノー残業デーであるという事である。次に、職員会議では、1年間の提案事項をファイリング(私の赴任前からの取組)し、予定時刻内に終了するための準備を行ったことで、ほとんどの職員会議は定刻時間内で終えることができた。これらの取組は超過勤務時間の数値を見ると、一定の効果があったように思う。更に、自主性を尊重する中、「教職員で楽しめるレクをしたい」との申し出があった。レクの実施も先生方の心の安定に繋がることが期待できそう、レクの実施について先生方に一任した。これが正しかったかどうか分からないが、当日は、ほとんどの先生方が参加し、「コロナ禍の中、久しぶりに笑った」「楽しかった」「このような時間は必要だ」との声が多かった。働き方改革の取組は、十校十色(十人十色)である。私の述べた事と同じような取組をしても進まないこともある。いろいろな情報を得て、修正を重ねながら学校の実情に合った取組を推進していくしかない。何のための働き方改革なのか今一度、全体で考えてみてはどうか。

11月 研究所事業予定

18(金)	ICT 教育推進部会 公開授業	市内学校
24(木)	初任研① 道徳科 代表授業	市内学校

※初任者のグループ研究(特別活動)に係る取組 ※中堅者の主事招聘授業

学習 e ポータル「まなびポケット」の導入

令和5年度全国学力・学習状況調査 中学校英語「話すこと」におけるのオンライン調査が、MEXCBT を活用して実施されます。

MEXCBT を活用するためには、オンライン上における学習の窓口機能を持ったソフト(以下、学習 e ポータル)が必要であり、那覇市では、NTT コミュニケーションズの「まなびポケット」を導入しました。

学習 e ポータルを使うことで、今後は、MEXCBT だけでなくデジタル教科書やその他のデジタル教材をあわせて利用することが可能となります。

【学習 e ポータル イメージビデオ】
一般社団法人 ICT CONNECT 21
<https://youtu.be/31WglFVLzGk>



119 期教育研究員 入所式

新垣 仁美	研究員(幼児教育)
末吉 理恵	研究員(特別支援教育)
狩俣 高志	研究員(小・道徳科)
宮里 理枝子	研究員(中・道徳科)



8(火)	中間検討会①
29(火)	指導案検討会

研究員の研究の様子については、研究所Webページにて発信していきます。

令和5年度 研究員 募集中

令和5年度の教育研究員の募集を行ってます。先生方の積極的な応募をお待ちしております。応募〆切:11月30日(水) 研究所必着【募集要項及び様式】

http://cms.nahaken-okn.ed.jp/?page_id=361
*【特別研究員】の募集については、教育相談課へ

